



レベルドレイン

刀の巫女 ふたなり搾精

妖刀に踏み躪られし心

本編62ページ



大きすぎると
現実味を失う

鬼はただでさえ
大きく恐ろしい
化け物なのだが

親玉である大鬼を前に
呆然と立ち尽くしたまま
踏み潰される者は多かつたという

だが鬼の侵攻に
備えている者達は
確かにいた

巫力を刀に込め
悪鬼を斬る巫女衆





ガ

鬼の雑兵
にすら
この始末

ドク
ドク
ドク
ドク

ドク
ドク
ドク



私達は
弱かったんだ...

そんな...
お姉様が...

レベル	12
段位	12
名	刀の巫女
筋力	30
敏捷	60
持久	21
生命	31
魔力	89

力が足りない!!



辱めを受け殺されて
いく仲間を見捨てて



隠れて逃げ回る
しか出来ない!!!

力が欲しい!!!



力が欲しいか
人間よ

ならば僕に刺さった
刀を抜いて解き放て

力が!!

その瞬間より
主従の契約は成る

だが努々覚えて
おくことだ

契約が果たされた
時に僕は自由となる

そして我が身を振るって
得たものは全て僕は
返してやるからさあ



その意味も考えず
軽率に抜いたな

だがまあよい
力は貸そう





そうか：
人間の心は
分からぬな

群裂の契約

この刀を振るい得たものは
全て失うこととなる。
覚悟することすら無意味と知れ



軽率ではなく
覚悟の上です

私は刀の巫女
ノドカ!

大妖刀の貴女の
御力お貸し願います



ムラサキ!

分かりました
これからよろしく
お願いします

號は『群裂』
鞆から抜く時は
そう呼べ





巫女様
人の似姿であろうと
群衆は化生
決して御心を
絆されぬよう……



うむ…これは
温かくて
柔らかいな

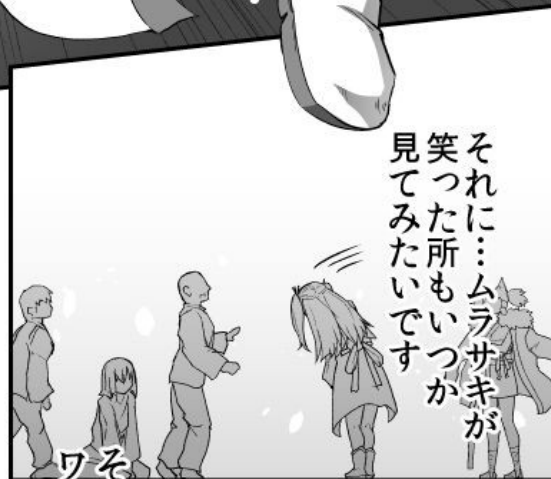
甘いとかしよっぱい
とかはどうですか？

…さあ…
人間は分からぬ





そうなのか？



それに…ムラサキが
笑った所もいつか
見てみたいです

それは無理難題だ
ワシには分からぬ



いづれ分かります
旅を通して人を
知ればきつと…



まだまだじゃ人間
大鬼とやらには
到底勝てぬ

分かっていきます…
修行を兼ねての
救国の旅なのです



貴女を引き抜いて
から2年…



とうとうここまで来た
これが最後の大鬼…!!



これを斬れば
人の世は泰平か



號は群衆
悪鬼を断
!!



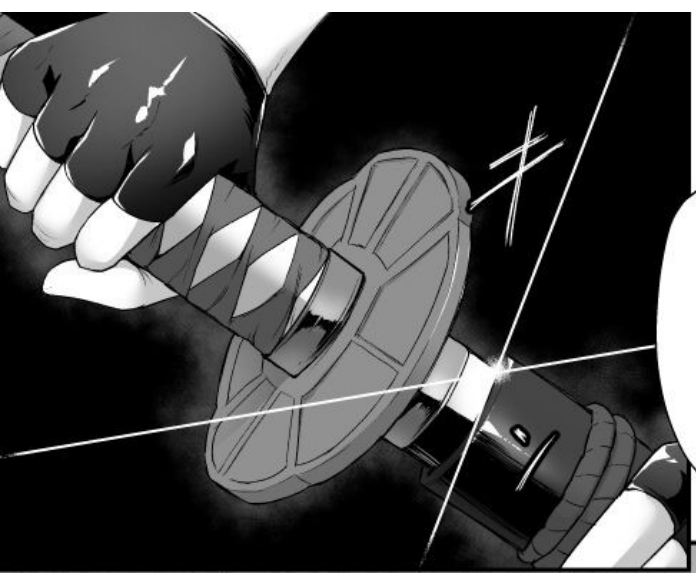
我が號を呼べ

ならば抜け



はい!!





泰平を脅かす
外道の者よ
命脈これにて
尽き果てたり



大鬼
斬滅!

人
不
ウ
ウ
ウ



果たしたな

ふむ
見事じゃ
人間

ひ
ゆる
る
る

る
る

それに良く育つたな

お主は立派な刀の巫女じゃ

レベル
段位：70

人妖合一の刀巫女

筋力：200+100

敏捷：256+100

持久：123+61

生命：180+90

魔力：326+100

とんでもないです…
結局私のもう一つの
目的は未達成ですし…

ありがとうございます
ございました

ここまで来れたのも
ムラサキの…

何を言っておる

?



な、何を!?



何とは?

2年の旅の中で
忘れたのか?



は

うっ



う...

ギョッ

言ったであろう

「我が身を振るって得たモノは
全て返してもらおうことになる」

儂は返してもらったモノで
刀として完成するのだ

群裂の契約

どのように契約が果たされるかは
契約者が何を果たかに依るため
群裂自身にすら分からない。

…覚悟はしていた
そのはずなのに

落胆している
自分が卑しい

…長く一緒に
居すぎたなあ…

我が身は全て
貴女のモノです

…はい

ですが…
これは一体…?

てつきり命を
獲られるもの
かと…んっ…

この方法はお主が
選んだことじゃ
僕の意志は無い

それは
どういう…
きゃんっ!!?

れろっ

ブッポッ

んっ





お主が得たのは
力だけでは
無かったのだ



儂を振るって
救世の旅を続け
矜持を得たな
仲間を見捨てた
後ろめたさを
忘れるほどに



儂にはその価値が
全く分からぬが…
これがお主から
矜持を奪う形と
いうことだ

えっ…あ
これ…男の人の…!!?

鍛えた力を
性交渉にて
搾り取る

全てを終えた頃には
お主は矜持も失っている

えっ何!?
私何をすれば

そのままじっと
しているといい

あつダメ…

待って
一回…

待てぬ

ビク

ビク

バ

ザ

ぐほっ

チャ

ッロ



契約だと
言っただろう

儂自身でもその
拘束は外せぬよ

待つてムラサキ…
私おかしい…

何か出そう…

そうか
出せ



やっ漏れた…

怖いですが
何か漏れそうで…

ずるるる…

あぁあ…

ギョッ

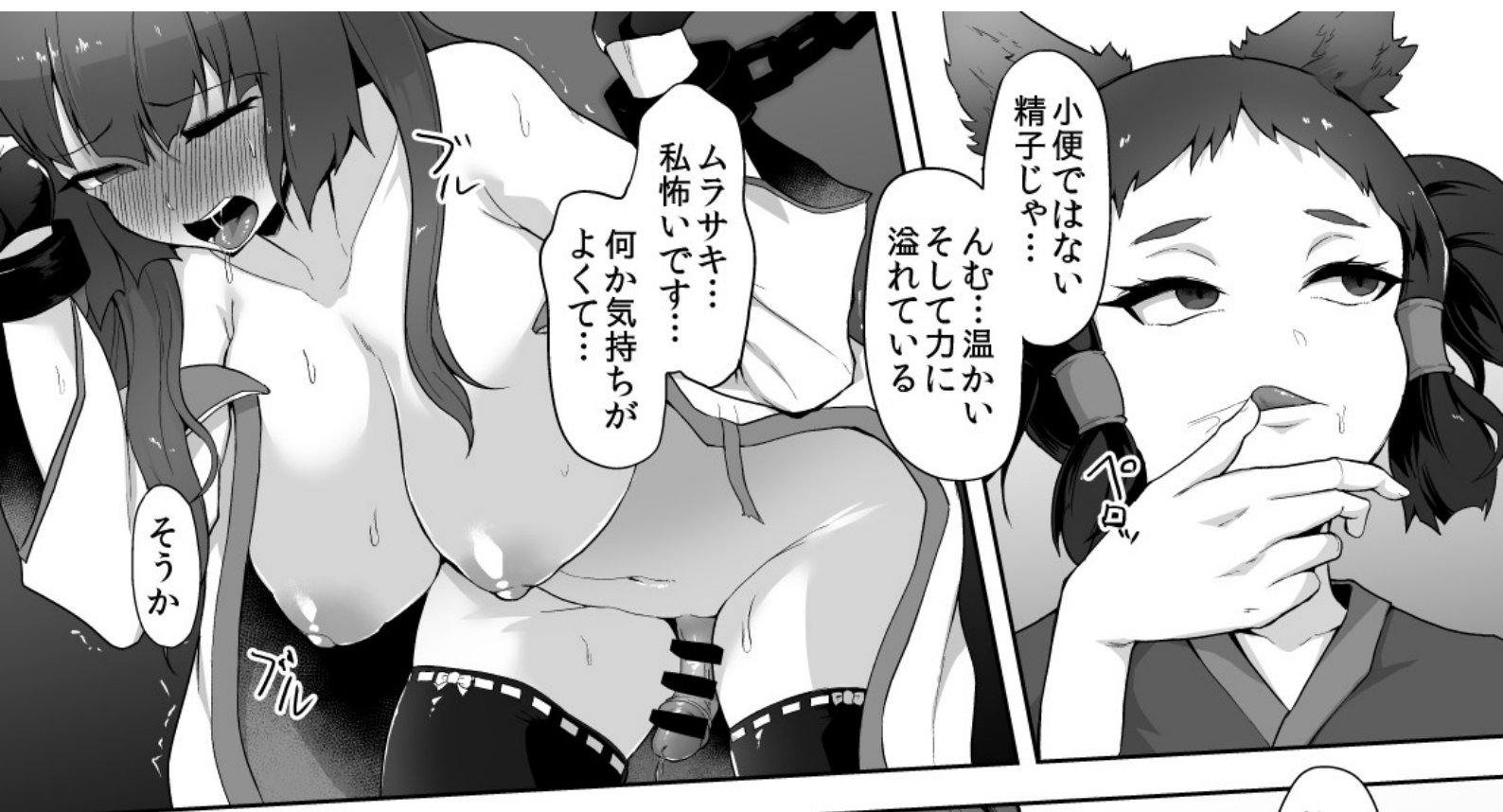
段位減少…
70→67

ドグ
ドグ
ドグ

ふおひをひふあ
腰を引くな

嫌つやめてくださいっ
汚いですっおしっこ…

ぽっ



小便ではない
精子じゃ…

んむ…温かい
そして力に
溢れている

ムラサキ…
私怖いです…

何か気持ち
がよくて…

そうか



口淫は少し
効率が悪いか

立て

儂の身体を
持ち上げよ

人間

ひっ!?

群裂の契約

返してもらうのは力だけではない。
貴女がこの旅で得られた「誇り」は
貴女が最も嫌悪する方法で搾取される。



な、何を…
この体勢は…？

お主は知識としても
性行為を知らぬのか？

今からワシのここで
お主の全てを奪う

えっ…



待って…痛いくらい
今…腫れてて…！

勃起という
んじゃそれは

待ってっ!?
心の準備が!?

ず
ぶ
ぶ
ぶ

んぎやあつ!?

ヒョウッ

ズ
ズ
ズ

ガッ

ガッ

悲鳴を上げて
ばかりではなく
自分で動けぬか?

むりっ…もう震えて
立てないっ…いや…

ガッ

おっ…?

びくっ

倒れることは
許しておらぬ

うごかせ

ぐ
あやっ
あやっ
あやっ

ああっ嫌っ
さつきより
変な…

ひっ!?

こんな気持ち
感じたくない…

私こんな…
鬼と一緒に…

やめて…

あやっ
あやっ
あやっ
あやっ

キキッ





落ちたくはないっ...

ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク

なあ、人間
大鬼の滅殺も成った

なに何故泣く?
この結末は承知の上
だったはずであろう

段位減少...
67→62

んっ.....

くっ...

ガッ

結末は分かっていた

ムラサキ...

妖刀の契約...

本当にそれだけの
旅だったの...?
貴女は何も感じない?

射精しろ

あつあつあつ
ごめんなさいっ

段位減少...
62→58



何への謝罪だ？

射精は上手に
出来ているぞ

一体何が
不満なのだ

その度にワシの身体が
満ちているのも分かる

…なあ人間

人間よ
まさかお主…



ワシとの契約に
手心を加えて
もらうため

打算で旅を
共にしたのか



あつ…ちが…
ちがいます…!!

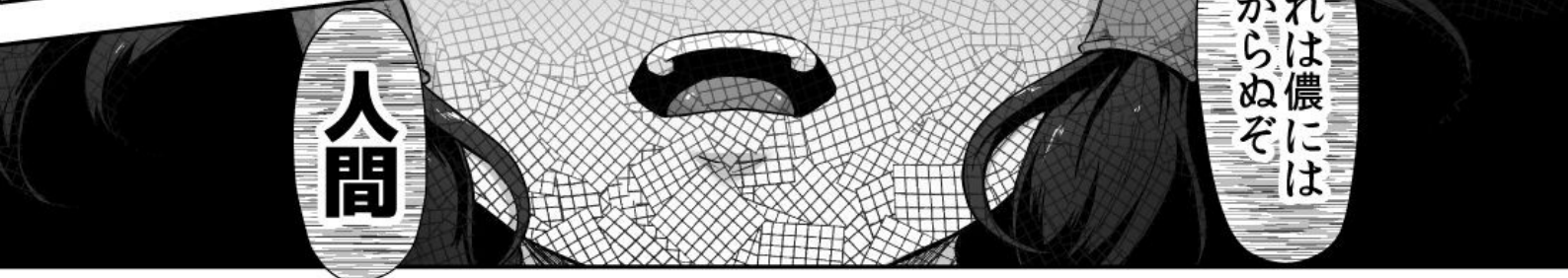
そんな卑しい
気持ちには…ツ

そんなつもり
じゃなくて…!
ただ私は…!!



「温かい」から「温かい」と言っただけじゃが

それだけじゃないと… 2年も一緒の旅で… 友になれたかもと…!



それは僕には分からぬぞ

人間



あっ

人間よ

袖の長さが気になるが人間

知らぬし分からぬ

先を征す人間

抜くか人間

ワシ二人ではどこへも向かわぬ

ワシに眠りは必要なのじゃが人間

まああつ



ならば私が
やっていたことは



私一度も名前で
呼ばれてなかった



イヤアアアッ!!



嫌あ!!
離してえ!!

契約を反故に
など出来ぬ

暴れるな
無駄じゃ



問答はもう
良いか？

お主も快樂は
あるのじゃろ
いちいち拒絶せず
受け入れろ

ぽっ



早くしろ

ついでに

ビーン

ギョッ



ひっ...や...

もうこれ以上
は...や...

ブル

ブル

ブル

妖刀群裂【真打】

お前が鍛え歩んだ
旅路はこれで終わり
手に入れたものは
全て返して貰った

これで儂は一振りの
妖刀として完成した

そしてお主はあと一度でも
射精したら力を全て失い死ぬ

レベル
段位：1

心折れた刀の巫女

筋力：3
敏捷：6
持久：2
生命：3
魔力：0

群裂の契約(達成済)

全てとは「全て」である。
貴女がこの旅で得たものは
何も無かった。





契約は
これにて
終いだて

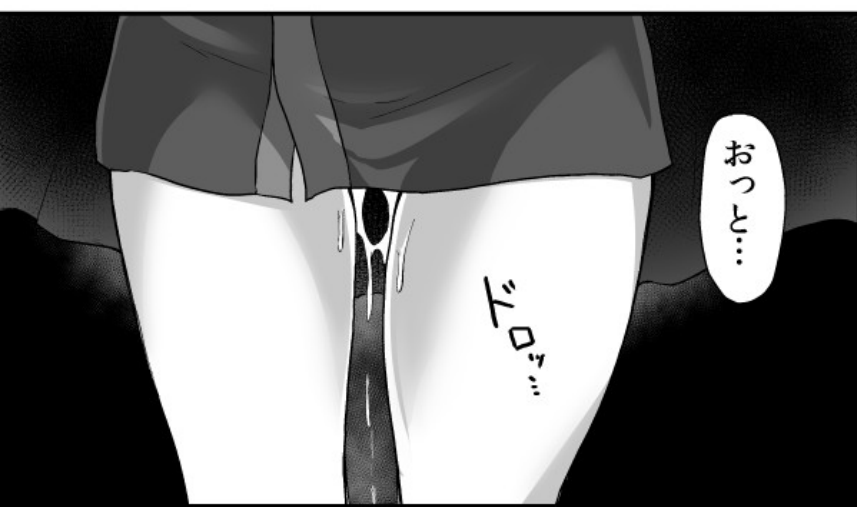
どこへなりとも
行くが良い



妖刀である
ゆえの生得には
逆らえぬのよ



ま
妖刀としての完成など
儂にはどうでもよいが…



おっと…



暖かかったな

人間



今の言葉

農が
言つたか？



行くなど
思つては
いか？農は



待て

ま



待て!!



貴女の近くに
いたら…

私は惨め
です…

…いや…です…



手放すのがた
惜しくなった

お主やはり
ここにいろ



何故か腹の下が
やけに熱いのだ



惨め? どういうことだ?
それは分からぬぞ?

それは今更
言うことか?



お主が伝えたかった
ことはこれか...?



何故だろう
逃したくない



これか？
これが原因か？
もつと触らせる

嫌ですつ
ムラサキ!!
お願いしますつ

たろ
やめ

かほ



私これ以上
射精したら死い…

ゴロッ

あつ駄目…!!
はうっ



少し確かめても
よいか人間
いや…

ノドカ



射精しない…
ガマン…ううっ…

事に及ぼうと
構えたら
顔まで熱く
なってきたぞ…

フル

フル
フル

どういふことだ
ノドカよ

ギョ
ウヤッ
びゅ

くちゅっ…

ノドカ…
入るぞ…

ずば
ずば
ずば

嫌…すぐ
漏れちゃう…

びゅ



嫌、嫌、嫌
死にたくない

はあっ…う…
何だ…先程とは
違う気が…

お願い…
ムラサキ
怖い、怖い



少しでも離れると
熱が逃げそうだ…



ムラサキ、
ムラサキ様



お願いします
もう射精します…

…???…???…?
死んでしまった
ではないか…??

ノドカの死体

全ての力を喪失した身体では
生存が不可能となる。
数分で魂も肉体から遊離する。

いや…それはそうだが
あと一回で死ぬと
ワシが言った

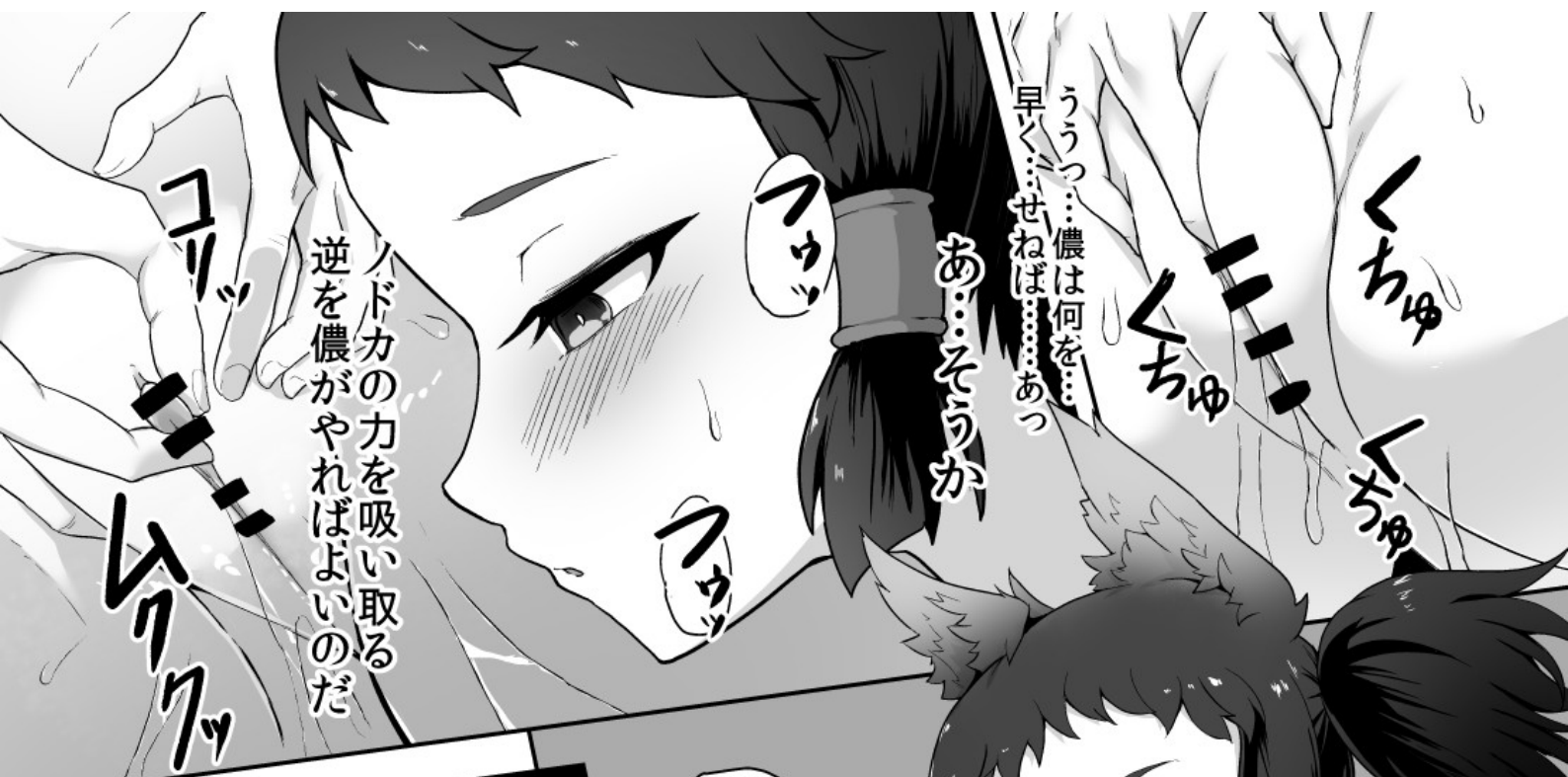
何を
して
いる
のだ
ワシ
は?

内から
獣が溢れる…

ワシを食かす?

くちゅん

いや…まずは
ノドカを起こさ
なくては…



ノドカのを吸い取る
逆を儂がやればよいのだ

コリッ
ムククッ

フウッ

フウッ

あ…そりか

ううっ…儂は何を…
早く…せねば…あつ

くちゅ
ムク
くちゅ



こんなものか…
うっ!?

何だこれは…生やしたら
余計に獣性が増した
ような心地に…!

ゴロリ

ぶらん

ピク
ピク

ピクッ



…生えていると
前が狭すぎるな
こちらで良いか

グッ
パァ



何…私…死ん…?
お尻…熱い…

ユサ

ユサ

ユサ

ズ
ツ

ズ
ボ

ウツ



えっ何!?
あっ!?

カリッ

ズ
ツ

ド
ズ

目が覚めたか
ノドカよ

勢い余って
殺してしまった

だから貰った力を
少し返すことで命を
長らえさせている

だがノドカよ…

ルルル…

くっ…
えん…?

お主こんなものに
耐えていたのか!?

全く堪えられぬ!
すぐにでも出るぞ!

あぐらうん

ぐらうん

ぐらうん

かん

ひぎん

ひん

かん



分からぬぞ
ノドカ...

与えているのは
儂なのに...!!

段位減#\$!?!>
1→0→1

まるで儂が喰らう
側ではないか!?

ノドカが死亡し、
ブドカが蘇生し。



仕方のない奴
じゃノドカ

入れた端から
出してしまうては
死んでしまうぞ

さあもう
一回じゃ

…嫌です…
ムラサキ様…

ぽん

ん
ん

暖かく
柔らかい…

だがそれ以外も
何かあるのだな

ぽん

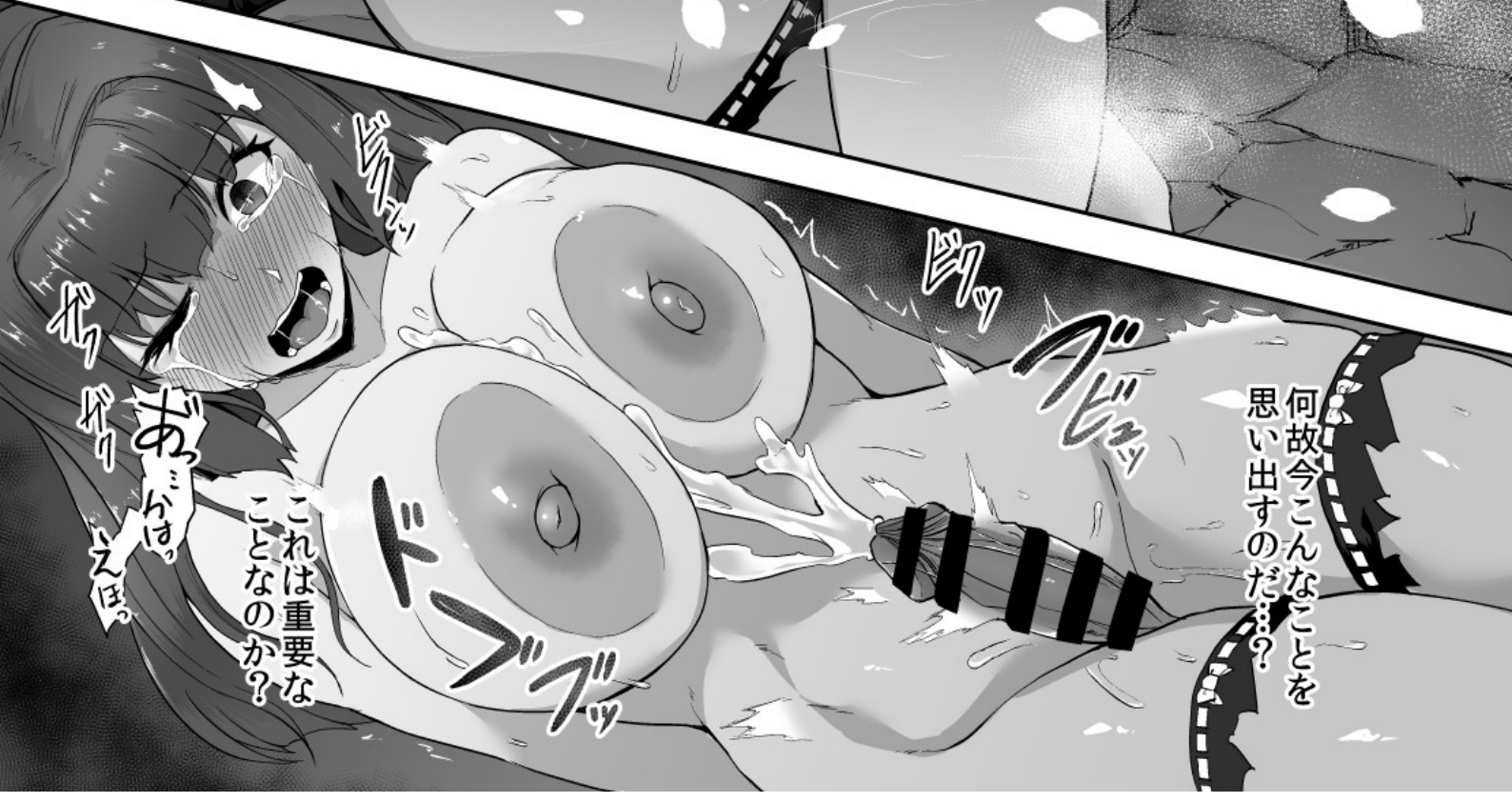
カッ

はっ
びん

：温泉にも一緒に
浸かったな

まって…また
射精しよう…
また死ぬ…

ノドカは儂が
錆びないのかと
見当外れな心配を
していた



何故今こんなことを
思い出すのだ…？

これは重要な
ことなのか？

あ、んは、
えほ。

ほれノドカ
しやんとしろ

先程までは多少は
我慢していただろう

グイッ

ぶるん

あ

グイッ

あうう

ドグイッ

なぜ僕に貫かれたら
勝手に漏らすのだ!

ドグイッ

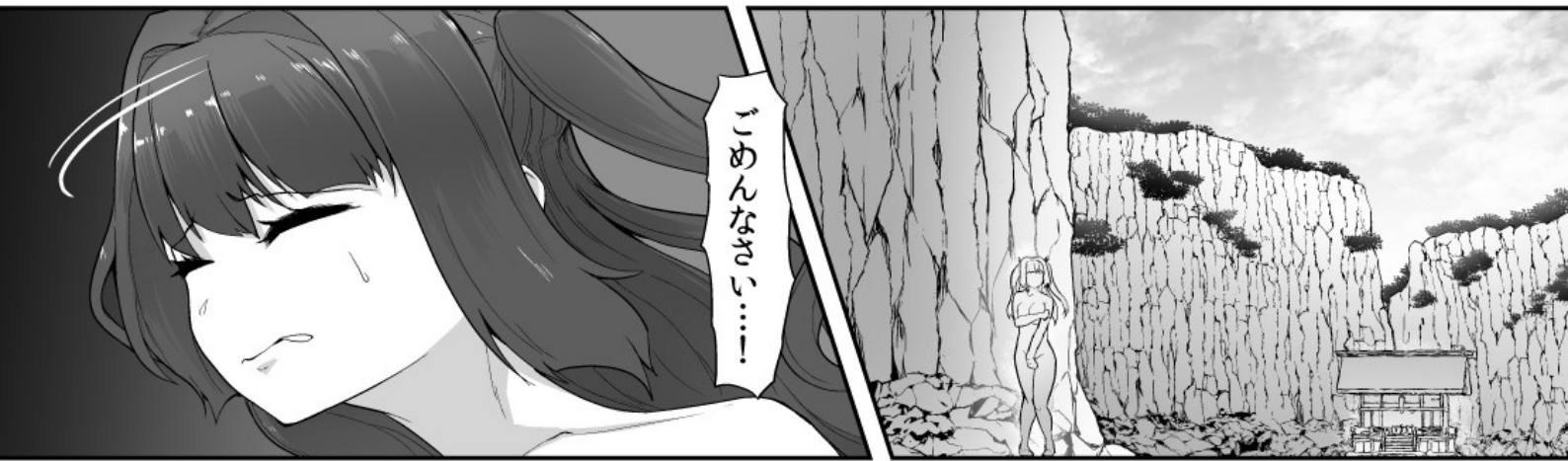
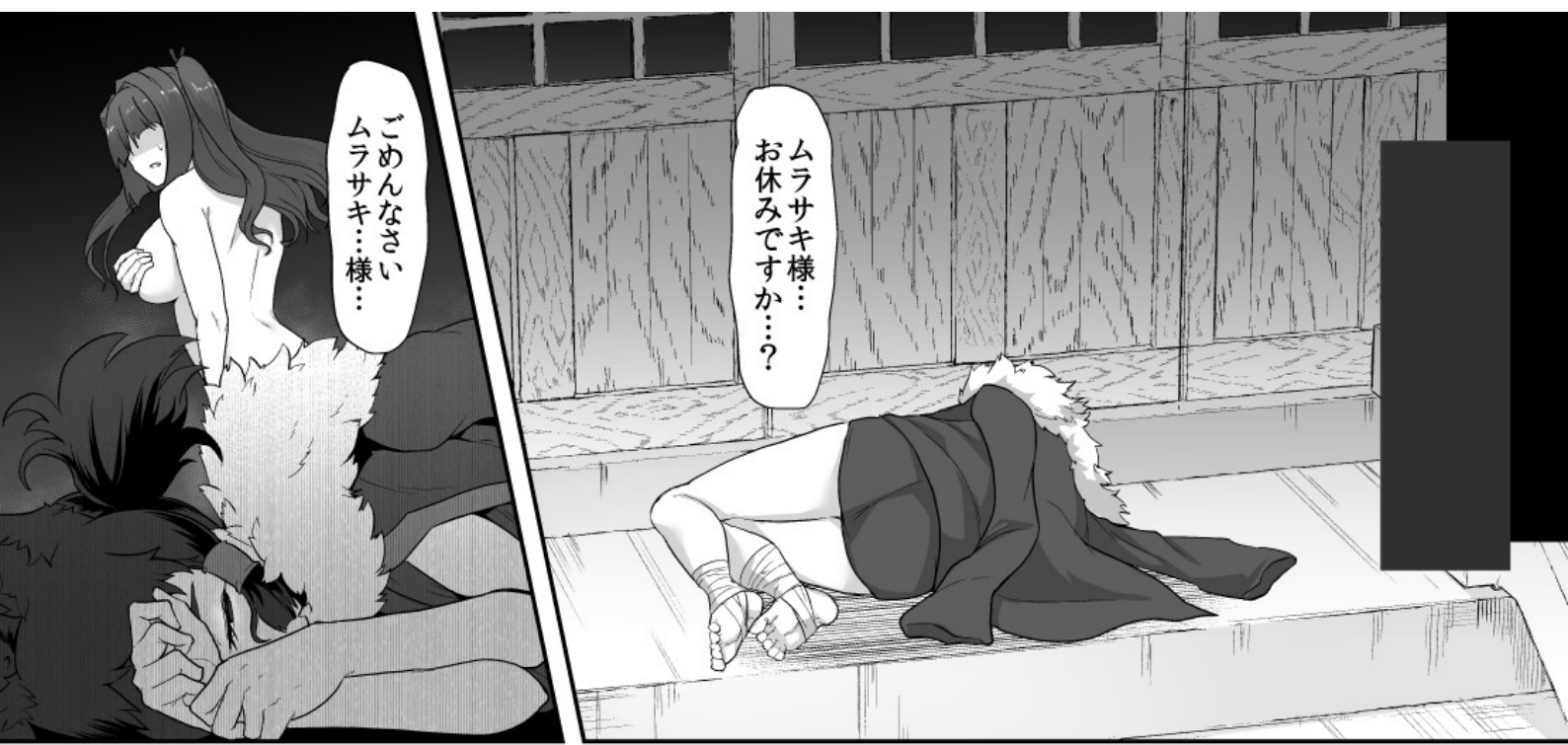
出さなよ
死にたいか?

あ
だめ...
触らないで...

ドグイッ

いや

ん...



逃げるならその手足は
封印すると言ったはずだ

しばらく芋虫に
なつて反省しろ

あ……いや……
ムラサキ様……

ノドカよ
これで何度目だ

ノドカの陰莖

吐き出すモノも無くなったのに
度重なる射精を強要されたので、
情けなく縮み上がってしまった。

やだ……
それだけは……

仕置が
必要な

反省したら返してやる態度を見せる
這いずつてこちらに來い

ドヤッ

あっあっ

こちらに...

ずり...

ずり...

かえる

おうちかえる...



分からん奴
だなノドカ!!

ズリ...



儂が精を分け
与えねば死ぬ！

はっ

ド
ズ

だから儂と
おらねばならぬ！
それだけのことだ！！



それが何故分からぬ！！
何故懲りずに逃げようと
するのだ!?

ド
ズ

ド
ズ



はっ

はっ

はっ

ズ
ズ

…もういいか…
やはりお主は
もう終わらせよう

あついやつ
いやだつ
掴まないでつ
精子出るつ

ずるっ…
ムラサキさま…

えっ…
ムラサキさま…

ワシの望む言葉を言え
それがワシの心とやらに
響いたら助けよう

最期の機会じゃ

ギョウウウ

ピッ
ピッ
ピッ

あ

あ

あ





えっことばつ
わからないっ

わかんないっ
わかんないっ

ムラサキさま
意地悪しないでえ...

やだおしっこ
でる...やだ...あ...

ギョッ

ハッ

ハッ

ギョッ



あ...

ン

ン



ご...

ごめんなさい...??

なんて...えへっへ...

そんなもの…

いめんなん…あー

あーあー

ドッ

ドッ

ドッ

ひゃああ

ドッ

ドッ

ドッ

もう聞き飽きたわ!!





儂には分からぬなあ
ノドカよ

群裂の呪い

群裂が貴女に心底から興味を失った時
貴女の肉体は魂ごと塵となり消滅する。
死にたくなければ必死に彼女の
興味をつなぎとめる。

だが、今の貴女の吐く言葉は
どれも群裂を失望させるには十分だるう。
失望など、以前の群裂なら思うことすら
なかったのに。

おわり